

メコン諸国と連携した地域協働・ドミトリー型融合教育による理工系人材育成

Co-creative Dormitory-type Group-work for SciTech Students in Japan and Mekong Countries with Regional Collaboration

地域協働による国際的な科学技術教育に関するフォーラム

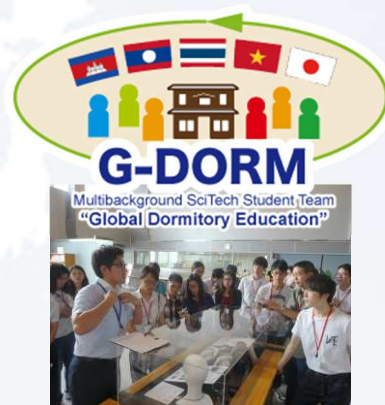
(燕地域企業との協働を通じた短期留学交流プログラム発表会)

日時 2018/8/27 (月) 8:30～12:10 (13:30～16:00グループワークショップ等)

会場 新潟大学 大学院 自然科学研究科 管理・共通棟2階 大会議室

プログラム (予定) ■使用言語: 英語 (通訳なし)

8:20- 8:30	開場・受付
8:30- 8:40	開会あいさつ
8:40- 8:55	G-DORM事業および新潟短期プログラムの紹介
9:00- 9:20	学生グループ1の活動報告と質疑(協働:エムテートリマツ)
9:20- 9:40	学生グループ2の活動報告と質疑(協働:アベキン)
9:40-10:00	学生グループ3の活動報告・質疑(協働:阿部工業, ゴトウ熔接)
10:00-10:15	休憩
10:15-10:35	学生グループ4の活動報告と質疑(協働:大泉物産)
10:35-10:55	学生グループ5の活動報告と質疑(協働:新越ワークス)
10:55-11:15	学生グループ6の活動報告と質疑(協働:丸山自動車)
11:20-11:40	学生グループ7の活動報告と質疑(協働:北越工業)
11:40-12:00	企業・大学・参加者からのコメント及び質疑
12:00-12:10	閉会あいさつ



海外連携大学 (学生16名教職員5名)

- 王立プノンペン大学(カンボジア)
- ラオス国立大学(ラオス)
- チュラロンコン大学(タイ)
- ハノイ工科大学(ベトナム)

※同日の13:30から16:00頃まで、短期プログラム参加学生を主体として、グループ活動を振り返りつつ「地域企業と国際社会の接点」および「メコン地域および新潟の国際展開力強化のための課題」などの観点からグループワークショップを行うことで、実践的グローバル人材として要する知識・能力やその育成に際しての課題等について理解を深める機会を提供します。その後、プログラム修了式を行います。是非、午前を引き続き、多くの参加をお願いいたします。(なお、午後もFDとします。)

申込み方法

8/6(月)までに「①所属・役職, ②参加者氏名, ③連絡先住所とe-mail, ④午後の参加の有無」を、以下に連絡願います。

E-mail: jimisa09@eng.niigata-u.ac.jp

Tel: 025-262-7290, Fax: 025-262-7010

※当日参加も可能です。

G-DORM事業は、工学部が開発した「ドミトリー型教育」に、新潟地域企業と連携したインターンシップ等を組み合わせた双方向教育プログラムです。

具体的には、本学と王立プノンペン大学(カンボジア)、ラオス国立大学(ラオス)、チュラロンコン大学(タイ)、ハノイ工科大学(ベトナム)の学生で、学年縦断・分野横断・多国籍学生チームを結成し、短・中・長期の3コースで、主にグループワーク(GW)に取り組みます。新潟とメコン諸国において新潟地域関連企業等におけるGWインターンシップを通じ、「地域協働の産学連携視点」、「融合分野的発想力、国際性、リーダーシップ」、「産業変遷の一貫的プロセスの知見」を涵養し、「地域創生課題解決能力と融合的視点をもつ理工系グローバル・リーダー人材」を育成します。

今回の短期留学プログラムでは、燕市と共に産業振興活動を行っている「公益社団法人つばめいと」と連携し、燕エリアの地域企業と協働したGWインターンシップを実施します。

